

室内キャンプファイヤーの準備と後片付け

北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル厚岸

使用物品

| 大型たき火台に用意されている物品 | 事務室（お声がけください） |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・たき火台（小）・トーチ(最大5本)・チャッカマン・炭用スコップ | <ul style="list-style-type: none">・薪セット (薪、板材、着火剤) |
| <ul style="list-style-type: none">・消火バケツ×4・ゴミ袋・火ばさみ・耐火手袋 | |



たき火台（小）

大型たき火台



薪セット

準備

- ① 事務室にある薪セットを受け取りに行きます。
- ② 大型たき火台を体育館中央の排煙ダクト下に設置します。

※白いフタは使用しないので降ろしますが、重いので2人組で行いましょう。

※車輪で足を踏まないよう気をつけてください。



体育館中央の排煙ダクト



※車輪に巻き込まれ注意

- ③ 会場準備を行います。
 - ・大型たき火台の中央に、たき火台（小）を設置し井形に薪を組みます。(次ページ参照)
 - ・細い薪や着火剤を下の方に差し込みます。
 - ・消火バケツ×4つに水をはり、大型たき火台の外側の四隅に設置します。
(工作室、工作広場にて水を汲むことができます)
 - ・着火剤をトーチの先に差し込みます。



以上の準備ができましたら、職員が排煙ダクトを降下させますので職員にお声がけください。

薪の組み方（例）

- ① 板材を井桁（いげた）状に組んでいきます。
- ② 中央に細い薪を差し入れます。
- ③ 点火箇所となるところに着火剤を差し込みます。
◎なるべく下の方に差し込みましょう。



後片づけ方

【キャンプファイヤー終了後】

- ① トーチの着火剤の燃え残りがある場合は、消火バケツに入れてください。
- ② 燃え残った薪・灰は、火ばさみや炭用スコップなどで水の張った消火バケツに移し、工作広場のアスファルトの上に一晚置き、完全に鎮火させます。
※たき火台（小）には、水をかけないようにお願いします。
※たき火台（小）は熱いので耐火手袋を着用ください。
- ③ 大型たき火台の中に小物を収納し、元の場所に戻してください。

※排煙ダクトの昇降は職員が行います。

【翌日】

- ① 燃え残りは、水切りカゴで水をよくきりゴミ袋に移します。
※大きな薪が残っている場合は、火ばさみなどを用いてください。
- ② ゴミ袋は、屋外ゴミ捨て場（燃えるごみ）に捨てます。
- ③ たき火台（小）、消火バケツ等を、元の場所（大型たき火台）に戻します。
- ④ 体育館が汚れていないか確認してください。

その他

- ◇ 点火後の活動については、団体の自主活動になります。
- ◇ 火に近づきすぎないようにするなど、活動における安全管理をお願いします。
- ◇ 体育館の音響では、CDの他、Bluetooth、イヤホンジャックで接続する機器がご使用いただけます。
- ◇ キャンプファイヤーの同日利用が他にあった場合、団体同士で準備や後片付けを確認・協力して行ってください。

